

## 第 63 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 29 年 2 月 27 日(月) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
2. 開催場所 COM 倶楽部会議室 (箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階)
3. 委員の出席 委員総数 7 名
- 出席委員 7 名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、須貝昭子、稲井信也、桑田政美  
中村保、高谷和彦、神垣美代香
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)  
大平麻由美 (編成課長)  
小川 亮 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 だまされたらあきません！スペシャル  
2) 審議  
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

## 6. 審議内容

### 1) 番組

#### (1) 事務局より番組説明

今回は年末年始に放送した「だまされたらあきませんスペシャル」を聴取いただきました。タッキー816では、2010年から、詐欺にだまされない、かしこい市民になるための方法を紹介したミニ番組を週に1回、箕面市の提供で放送してきました。2014年からは、聞いていただく機会を増やすためにより頻度をあげて、内容をミニコント風の1分間CMに更新し、毎日3回放送しています。CMには、当初西川ヘレンさんを起用し、コントを「劇団すずしろ」団員が担当。2016年からは、市民グループ「防犯箕面なでしこ隊」に出演していただいています。さらに、CM以外の企画として、市内を中継で巡る「タッキーたんけん隊」でも、『悪質詐欺にだまされたらあきません!』と題して、市内のさまざまなシニアグループを訪問し、CMを聞いていただいた上で、みなさんが被害に遭われていないか、また、だまされそうになったかたがおられたらその体験を伺い、さらに、市の消費生活相談員に同行してもらい、最新の詐欺の手口を教えてくださいながら、被害防止の啓発活動を続けてきました。これらの流れから、特に年末年始をねらった詐欺が多いことに着目し、市役所など相談窓口が休みになる年末年始に集中して放送する啓発番組を制作しました。

番組は3部構成で、実際に振り込め詐欺（還付金詐欺）の被害に危うくあいそうになったパーソナリティが、詐欺の手口を紹介。2部は、市役所など相談機関が閉まっているときに被害にあった場合の対処法を、市消費生活相談員に教えていただきました。3部は2016年に「タッキーたんけん隊」の生中継でインタビューした、被害にあったかたのお話を改めて聞きながら、市消費生活相談員にアドバイスいただきました。

## (2) 審 議

委員長：ただいま番組の説明がありました。それでは審議をお願いします。

委員A：放送意図について、目的やターゲットがしっかりしていていい。もっとこのようなターゲットがはっきりした番組があってほしい。ただ、放送日が疑問。番組中に年金の振込日翌日が狙われやすいとか言っているのに、年末年始でしょ。できれば12月中旬の方がいいでしょう。内容については、1部の説明は分かりやすく聞きやすかった。2部は欲張り過ぎた印象。どこかに絞って説明したほうが効果は出そう。偶然テレビで似たような特集があったが、非常にいいねだった。ターゲットが高齢者なので特にいいねにやらないとダメです。3部は中継の音だからか、小さかったり聞こえにくかったりしていた。ジングルに使われていた「だまされたらあきません」のフレーズはメリハリが出て効果的だと思います。

委員B：私も実際に振り込みそうになった人を止めたという話を聞いたことがあります。振り込め詐欺注意喚起の貼り紙があっても被害は減りませんから、こういった番組は必要。内容ですが、だまされそうになったパーソナリティの話は臨場感がありました。だまされるようなイメージがない人でも、まんまと罠にはめられて、だまされてしまうということが体験談から分かり、怖いんだなあと思いました。本当にそういう風に引っかけちゃうんだと。必要な番組なので、年末年始だけというのはもったいない気がします。高齢者のかたが聞きやすい昼の時間帯に放送してもらったら、救われる人がいるんじゃないかと思いました。振り込め詐欺だけでなく、いろいろな詐欺がありますからこういった啓発の番組は必要です。番組としても面白く聞き入りました。

委員長：先ほど委員Aからもありましたが、時間帯は検討して放送していますか。

事務局：はい。放送期間中、いろいろな時間を選んで放送しました。

委員A：やはり年金が振り込まれる時期が多いときくので、もう少し早い時期にやらないと意味はないでしょう。

委員長：そういったご意見もありますから考慮しながら進めてください。

委員C：ATMなどで啓発ポスターなどを見ますが、絶対自分は大丈夫といつも思っていたんですが、パーソナリティの話を知ったらやっぱり明日は我が身だと感じました。パーソナリティの話の1部は聞きやすかったですけど、2部3部は長くてだらっとしている印象でした。でも、こういう話をラジオで言ってくれると「はっ」と気が付けるから良いと感じました。

委員D：番組意図が行政などの相談窓口が閉まっている期間の放送日という狙いはいいことだと思いますが、委員Aが仰っていたような年金受給日の前後に放送することも必要でしょう。内容は結構な番組だったと思います。

委員E：最近流行の案件ですし、パーソナリティでもひっかかるんですからね。こういう番組は一回聞いただけでは分からないから、何度も何度もスポット的に放送するといいいでしょう。

委員F：番組そのものは怖いなという印象で、構成もそれなりに良いですし、恐怖をあおるのはいい具合でした。ただ、突っ込みどころがいっぱいありました。あとで思い返してみると分からない。何が分からないかというと、たくさん情報が詰め込まれ過ぎていて、何をどうしたらいいか分からない。消費生活センターやら、国民生活センターのHPをみろとか、いろいろなことを言われても入ってこなかったです。特別番組ですから恐怖をあおることだけが目的ならいいかもしれませんが、ケースごとに20分番組を入れたりする方が伝わります。電話番号もきちんと伝え、困ったときの電話はここにするんだよというのも必要でしょう。例えば番組内で古物商の許可書を持っているか確認しましょうと言っていますが、偽物を出されたら素人には判別できません。特に高齢者は。そういう所にも注意を払った番組を、年間を通して発信することが必要でしょう。消費生活センターのかたも、これもあれも言わなければといった感じで、あとから聞いても残らなかったです。もっと的を絞ればさらにいい番組になるのではと。それともうひとつ、ラジオだからいっぱなしになっちゃうので、市報とか他のメディアと一緒にやることもいいです。狭い意味でのメディアミックスですが。

委員D：対象が高齢者なのに、ホームページを見ろとか言われても正直ついていけない。ネットネット言われても…。言葉が引っかかりました。

委員F：例えば、こういう場合は今から言う電話番号に連絡ください。072…みたいに。これを入れるだけでも、分かりやすくなるでしょう。聞いている人に合わせた配慮は無かった気がしました。

委員長：今までは詐欺も個人でしたけど、今は複数の人物が関わってくるでしょう。会社組織のようにだます手口とか。私もこれを聞いて、自分もだまされるなど逆の考えに変わりました。いろいろな手口のパターンを紹介してほしいです。もしもそういう被害にあいかけていたりしたときに思い出せるような。ここへ連絡したら大丈夫みたいに。そういった安心感を持ってもらえたらより良いかなと。

委員F：初めに聞いたそのときは良かったんですけど、情報がいっぱいでごちゃごちゃしていて、あとで思い出せなかった。こういうときはフレームを考えたらいい。まず、キャッチフレーズの「だまされたらあきません」。これがひとつ。それから事例です。こんな詐欺があるよ。こんなやり方でくるよ、みたいな事例。そして3番目が、だまされないための予備知識。だまされないためにこういう事を知っておいて、という。4番目は対処方法。例えば、玄関に来て、家に上がろうとしている人にどういう対処をしたらいいのか。この4フレームに分けて番組を作っていけば分かりやすくなっていくんじゃないか。注意喚起はCMでもできてますから、その次のステップを考えた構成にすれば、より整理がついた番組になると思います。

委員長：高齢になると個人で対応するのも難しい。警察に相談するのはハードルが高い。第一報は絶対家族になるので、まず家族への相談を促すのはいいことです。普通すぐに警察へ知らせてくださいと言いますが、やはり目線に立ってできることを提案する方がいいです。

事務局：私たちが発行する情報紙の2月号から、消費者トラブルに関する記事を掲載しています。これも毎月、消費生活センターと今流行りの事例を取り上げて掲載するようにしています。さらにていねいに、何かあったときは消

費生活センターへと1本に絞って啓発し、聞いているかたの立場に立てるような内容に取り組みます。

委員長：これで審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成29年2月27日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会